

部品 用品 整備

最新動向

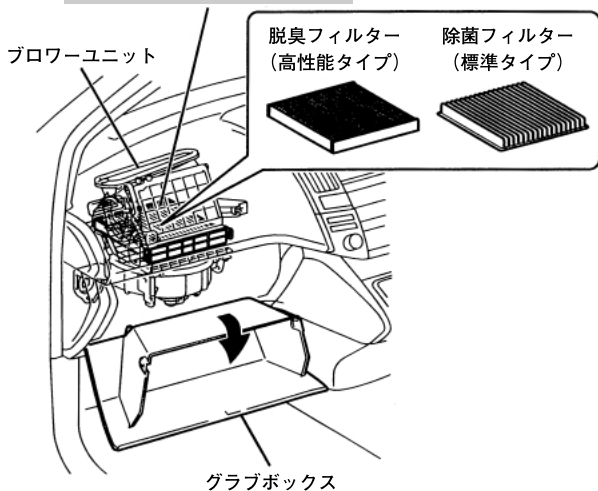
# テクノレーダー

01

## エアコン・クリーンフィルター

ホコリ・花粉・排ガスをシャットアウト！ 今後は定期交換需要がグンとアップ!!

エアコン・クリーンフィルター



<参考>トヨタ自動車 新型ハリアー



### クリーンエアによる快適な車室内環境を！

カーエアコンの「ブロワーユニット」内に組込まれた「エアコン・クリーンフィルター」は、近年の新型車における“隠れたトレンド部品”だ。

このフィルターは、エアコン作動時（主に外気導入時）に室内に供給される空気に混入したホコリや粉塵、花粉、排気ガスの不快な臭いなどを除去するのが特徴で、日産自動車の純正「クリーンフィルター」の場合、ホコリや粉塵を80%以上集塵する性能を有している。

97年頃より標準化を推進したトヨタ自動車は、それ以降の新型乗用車に100%標準装備しており、現在は全乗用車メーカーが標準装備またはディーラーオプションを設定するまで普及した。

### 新たな収益源として補修需要を見逃すな!!

エアコン・クリーンフィルターは「エアクリーナエレメント」と同じように、自動車メーカーが

定期交換基準を設けている。ホコリや粉塵がフィルターの表面に付着する構造上、何年間も使用し続けていると目詰まりするからだ。

上記の新型ハリアーを例にすると標準タイプは3万kmごと、高性能タイプは1万5,000kmごとの交換が必要で、大都市や寒冷地のように交通量または粉塵が多い地区はフィルターの寿命が短くなり、それに伴って交換サイクルも短くなる。

エアコン・クリーンフィルターの寿命は車検の実施時期にマッチする場合もあり、同フィルターの装着車両が増加していることを考えると、今後は補修需要の拡大が大いに期待できる。

また最近では、ハリアーのように除塵用不織布と脱臭用蒸着型活性炭を使用した高性能タイプや、日産自動車オプション設定した「花粉フィルター」など、バリエーションを増やしている自動車メーカーもある。クルマを使用する状況や要望に合わせて、ユーザーに対しこれらを提案販売しやすくなってきた点も見逃せない。